

川崎名人 迫力札取り

社中央第一こども園で模範試合

園児「速くてびっくり」

みんなで読もう

競技かるたの川崎文市(28)は8日、福井市湊4丁目の社中央第一こども園を訪れ、模範試合を披露した。目にも止まらない札を取る



速さと、札を吹き飛ばす迫力ある取りに、園児はくぎ付けになっていた。同園と社中央第一こども園は毎年この時期

にかるた大会を開いている。園児に本格的な競技かるたを知ってもらおうと2年前から、川崎名人と妻の岩堀聡美(30)を招いている。岩堀さんの母親で、公認読手の晴美三段(60)が札を読み上げた。

札を吹き飛ばしながら素早い取りを見せる川崎名人(左)と岩堀七段(右)8日、福井市湊4丁目の社中央第一こども園

園児が見守る中、川崎名人と岩堀七段が「お願いします」と一札をして真剣な表情で向かい合うと、一気に会場は緊張した雰囲気。2人が数枚の札を吹き飛ばしながら電光石火の取りを見せると、園児から「速い」と驚きの声と歓声が上がった。

5歳児8人によるかるた大会の準決勝と決勝も行われた。先月から練習してきた園児はすっかり札を覚えていて、「はいっ」と声を出しながら熱戦を繰り広げた。優勝した仙谷心春ちゃん(6)は「名人のスピードはとても速くてびっくりした。私もあるクインになった」と目を輝かせていた。(川上桂)